

1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

1) 動物の生息の状況

(1) 動物相の状況

動物の生息状況の把握に用いた既存文献・資料は、表 4-1-32(1)～(2)に示すとおりです。

表 4-1-32(1) 動物の生息状況の把握に用いた文献・資料

No	資料名	発行年 (閲覧年月)	発行元
1	すぐれた自然図	昭和 51 年	環境庁
2	第 2 回自然環境保全基礎調査 動植物分布図	昭和 56 年	環境庁
3	第 2 回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書 (鳥類)	昭和 55 年	環境庁
4	第 3 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書 鳥類	昭和 63 年	環境庁
5	第 3 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書 (両生類・爬虫類)	昭和 63 年	環境庁
6	第 3 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書 (昆虫 (トンボ、チョウ、 セミ及び甲虫、ガ) 類)	昭和 63 年	環境庁
7	第 3 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書 (淡水魚類)	昭和 63 年	環境庁
8	第 3 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書 (陸産及び淡水産貝類)	昭和 63 年	環境庁
9	第 4 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書 (哺乳類)	平成 5 年 3 月	環境庁自然保護局
10	第 4 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書 (両生類・爬虫類)	平成 5 年 3 月	環境庁自然保護局
11	第 4 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書 (昆虫 (トンボ、チョウ、 セミ及び甲虫、ガ) 類)	平成 5 年 3 月	環境庁自然保護局
12	第 4 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書 (淡水魚類)	平成 5 年 3 月	環境庁自然保護局
13	第 4 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書 (陸産及び淡水産貝類)	平成 5 年 3 月	環境庁自然保護局
14	第 5 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査報告書 (哺乳類)	平成 14 年 3 月	環境省自然環境局生物多様性センター
15	第 5 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査報告書 (両生類・爬虫類)	平成 13 年 10 月	環境省自然環境局生物多様性センター
16	第 5 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査報告書 (昆虫 (トンボ、チョウ、セ ミ・水生半翅、ガ、甲虫) 類)	平成 14 年 3 月	環境省自然環境局生物多様性センター
17	第 5 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査報告書 (淡水魚類)	平成 14 年 3 月	環境省自然環境局生物多様性センター
18	第 5 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査報告書 (陸産及び淡水産貝類)	平成 13 年 10 月	環境省自然環境局生物多様性センター
19	第 6 回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査 哺乳類分布調査報告書	平成 16 年 3 月	環境省自然環境局生物多様性センター
20	サイエンスミュージアムネット	(令和元年 1 月)	国立科学博物館 HP
21	レッドデータブックあいち 2020-動物編-	令和 2 年 3 月	愛知県環境局

表 4-1-32(2) 動物の生息状況の把握に用いた文献・資料

No	資料名	発行年 (閲覧年月)	発行元
22	愛知県史・別編・自然	平成 22 年 3 月	愛知県
23	稲沢市－動植物生息調査業務報告書－ (平成 23 年度～平成 27 年度)	(平成 28 年 3 月)	稲沢市ホームページ
24	愛知県鳥類生息調査	令和元年	愛知県
25	愛知県の昆虫 (上)	平成 2 年 3 月	愛知県昆虫分布研究会
26	愛知県の昆虫 (下)	平成 3 年 3 月	愛知県昆虫分布研究会
27	リフレッシュ濃尾用水	平成 18 年	農林水産省東海農政局
28	平成 24 年度水生生物調査の結果について	(平成 25 年 3 月)	愛知県ホームページ
29	岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物 (動物編) 改訂版-岐阜県レッドデータブック (動物編) 改訂版-	(平成 22 年 8 月)	岐阜県ホームページ
30	第 4 回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図	平成 7 年	環境庁
31	一宮市内の指定文化財等一覧	(令和 4 年 3 月)	一宮市ホームページ
32	稲沢の文化財	(令和 4 年 3 月)	稲沢市ホームページ
33	各務原市文化財	令和 3 年 2 月	各務原市ホームページ
34	生物多様性の観点から重要度の高い湿地 [重要湿地]	平成 28 年 4 月	環境省自然環境局

① 哺乳類の概況

調査区域において生息記録のある哺乳類として、コウベモグラ、ハタネズミ、カヤネズミ、タヌキ等を含む10科17種が確認されています。

② 鳥類の概況

調査区域において生息記録のある鳥類として、ミサゴやオオタカ等の猛禽類をはじめ、カイツブリ、チュウサギ、セッカ、ホオジロ等を含む52科187種が確認されています。

③ 爬虫類の概況

調査区域において生息記録のある爬虫類として、クサガメ、ニホンスッポン、ヒガシニホントカゲ、アオダイショウ等を含む7科8種が確認されています。

④ 両生類の概況

調査区域において生息記録のある両生類として、ヤマトサンショウウオ、ナゴヤダルマガエル、ヌマガエル等を含む6科10種が確認されています。

⑤ 魚類の概況

調査区域において生息記録のある魚類として、コイ、オイカワ、モツゴ、ドジョウ、ドンコ、トウカイヨシノボリ等を含む15科46種が確認されています。

⑥ 昆虫類の概況

調査区域において生息記録のある昆虫類として、ベニイトトンボ、アオヤンマ、シオカラトンボ、アキアカネ等を含む136科579種が確認されています。

⑦ 底生動物の概況

調査区域において生息記録のある底生動物として、クロダカワニナ、サカマキガイ、スジエビ等を含む26科37種が確認されています。

⑧ 陸産貝類の概況

調査区域において生息記録のある陸産貝類として、ナミコギセルガイ、トクサオカチヨウジガイ、コハクガイ、ヒラマイマイ等を含む9科28種が確認されています。

(2) 動物の重要な種及び注目すべき生息地の状況

① 哺乳類

調査区域において確認記録のある6目10科17種の哺乳類について、重要な動物種の選定基準によって重要な種を選定しました。

重要な種はハタネズミ、カヤネズミ等の2目3科4種で、表4-1-33に示すとおりです。

表4-1-33 重要な哺乳類

No	目名	科名	種名	選定基準						
				I	II	III	IV	V	VI	VII
1	ウサギ	ウサギ	ノウサギ						NT	
2	ネズミ	リス	ニホンリス						NT	
3		ネズミ	ハタネズミ						NT	
4			カヤネズミ						VU	NT
合計	2目	3科	4種	0種	0種	0種	0種	0種	4種	1種

注1) 分類、配列などは基本的に「令和元年度版 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和元年、国土交通省)に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- I. 「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号)等に基づく天然記念物
- II. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号)に基づく国際・国内希少野生動植物
- III. 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」(平成22年、愛知県)に基づく指定希少野生動植物種
- IV. 「岐阜県希少野生生物保護条例に基づく指定希少野生生物」(平成15年、岐阜県)に基づく指定希少野生動植物種
- V. 「環境省レッドリスト2020」(令和2年3月27日、環境省報道発表資料)掲載種
- VI. 「レッドリストあいち2020」(令和2年3月、愛知県)掲載種
VU: 絶滅危惧II類、NT: 準絶滅危惧
- VII. 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)改訂版-岐阜県レッドデータブック(動物編)改訂版-」(平成22年8月、岐阜県)
NT: 準絶滅危惧

② 鳥類

調査区域において確認記録のある 21 目 52 科 187 種の鳥類について、重要な動物種の選定基準によって重要な種を選定しました。

重要な種はカイツブリ、オオタカ等の 13 目 25 科 50 種で、表 4-1-34(1)～(2)に示すとおりです。

表 4-1-34(1) 重要な鳥類

No	目名	科名	種名	選定基準									
				I	II	III	IV	V	VI			VII	
									越冬	繁殖	通過		
1	カモ	カモ	マカヅン	天然				NT					
2			オシドリ				DD		NT		NT		
3			トモエガモ				VU	VU					
4			カワアイサ					NT					
5	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ									NT	
6			アカエリカイツブリ					EN					
7	ハト	ハト	アオハト									DD	
8	ペリカン	サギ	ヨシコイ				NT		CR	CR	VU		
9			チュウサギ				NT						
10	ツル	クイナ	クイナ					NT					
11			ヒクイナ				NT		NT	NT	VU		
12			ハシ					NT	VU				
13	カッコウ	カッコウ	ツツドリ						VU	NT			
14			カッコウ						VU	NT			
15	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ				NT		EN	VU	NT		
16	チドリ	チドリ	ケリ				DD						
17			イカルチドリ					NT	VU				
18			シロチドリ				VU	VU	VU		NT		
19		セイタカシギ	セイタカシギ				VU	VU	EN				
20		シギ	ヤマシギ					NT					
21			タカブシギ				VU			EN			
22			ハマシギ				NT	VU					
23		タマシギ	タマシギ				VU		EN	EN	NT		
24		カモメ		スズクロカモメ				VU	VU				
25				コアジサシ				VU		EN	VU	VU	
26		タカ	ミサコ	ミサコ				NT		NT			
27	タカ		ハチクマ				NT		VU	NT	NT		
28			チュウヒ		国内		EN	VU	CR				
29			ハイロチュウヒ					EN					
30			ツミ						NT		DD		
31			ハイタカ				NT				NT		
32			オオタカ				NT	NT	NT		NT		
33			サシハ				VU		EN	NT	NT		
34			フクロウ	フクロウ	フクロウ					NT	NT		NT
35	アオハズク								EN	VU	NT		

表 4-1-34(2) 重要な鳥類

No	目名	科名	種名	選定基準										
				I	II	III	IV	V	VI			VII		
									越冬	繁殖	通過			
36	フッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ							EN	CR		NT	
37		フッポウソウ	フッポウソウ					EN			EN	VU	CR+EN	
38	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ		国内			VU	NT		VU		NT	
39	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ					VU					NT	
40		カササギヒタキ	サンコウチョウ										NT	
41		モズ	チコモズ					CR					CR+EN	
42		ムシクイ	センダイムシクイ										NT	
43		ヒタキ	マミシロ								EX	NT	DD	
44			トラツグミ											DD
45			アカハラ								CR			
46			コルリ								NT			
47			コサメヒタキ								NT			NT
48			セキレイ	ヒンスズイ								EX		
49			ホオシロ	ホオアカ								CR		NT
50				クロジ										
合計	13 目	25 科	50 種	1 種	2 種	0 種	0 種	25 種	17 種	29 種	13 種		28 種	

注1) 分類、配列などは基本的に「令和元年度版 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- I. 「文化財保護法」（昭和25年 法律第214号）等に基づく天然記念物
天然：国指定天然記念物
- II. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年 法律第75号）に基づく国際・国内希少野生動植物
国内：国内希少野生動植物
- III. 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」（平成22年、愛知県）に基づく指定希少野生動植物種
- IV. 「岐阜県希少野生生物保護条例に基づく指定希少野生生物」（平成15年、岐阜県）に基づく指定希少野生動植物種
- V. 「環境省レッドリスト2020」（令和2年3月27日、環境省報道発表資料）掲載種
CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足
- VI. 「レッドリストあいち2020」（令和2年3月、愛知県）掲載種
EX：絶滅、CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、
- VII. 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物（動物編）改訂版-岐阜県レッドデータブック（動物編）改訂版-」（平成22年、岐阜県）
CR+EN：絶滅危惧 I 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

③ 爬虫類

調査区域において確認記録のある2目7科8種の爬虫類について、重要な動物種の選定基準によって重要な種を選定しました。

重要な種はクサガメ及びニホンスッポンの1目2科2種で、表4-1-35に示すとおりです。

表4-1-35 重要な爬虫類

No	目名	科名	種名	選定基準						
				I	II	III	IV	V	VI	VII
1	カメ	イシガメ	クサガメ							DD
2		スッポン	ニホンスッポン					DD	DD	DD
合計	1目	2科	2種	0種	0種	0種	0種	1種	1種	2種

注1) 分類、配列などは基本的に「令和元年度版 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和元年、国土交通省)に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- I. 「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号)等に基づく天然記念物
- II. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号)に基づく国際・国内希少野生動植物
- III. 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」(平成22年、愛知県)に基づく指定希少野生動植物種
- IV. 「岐阜県希少野生生物保護条例に基づく指定希少野生生物」(平成15年、岐阜県)に基づく指定希少野生動植物種
- V. 「環境省レッドリスト2020」(令和2年3月27日、環境省報道発表資料)掲載種
DD: 情報不足
- VI. 「レッドリストあいち2020」(令和2年3月、愛知県)掲載種
DD: 情報不足
- VII. 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)改訂版-岐阜県レッドデータブック(動物編)改訂版-」(平成22年、岐阜県)
DD: 情報不足

④ 両生類

調査区域において確認記録のある 2 目 6 科 10 種の両生類について、重要な動物種の選定基準によって重要な種を選定しました。

重要な種はヤマトサンショウウオ、ニホンアカガエル等の 2 目 3 科 5 種で、表 4-1-36 に示すとおりです。

表 4-1-36 重要な両生類

No	目名	科名	種名	選定基準						
				I	II	III	IV	V	VI	VII
1	有尾	サンショウウオ	ヤマトサンショウウオ					VU	EN	CR+EN
2		オオサンショウウオ	オオサンショウウオ	特天				VU	EN	VU
3	無尾	アカガエル	ニホンアカガエル							NT
4			トノサマガエル					NT		
5			ナゴヤダルマガエル					EN		VU
合計	2 目	3 科	5 種	1 種	0 種	0 種	0 種	4 種	2 種	4 種

注1) 分類、配列などは基本的に「令和元年度版 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- I. 「文化財保護法」（昭和25年 法律第214号）等に基づく天然記念物
特天：国指定特別天然記念物
- II. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年 法律第75号）に基づく国際・国内希少野生動植物
- III. 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」（平成22年、愛知県）に基づく指定希少野生動植物種
- IV. 「岐阜県希少野生生物保護条例に基づく指定希少野生生物」（平成15年、岐阜県）に基づく指定希少野生動植物種
- V. 「環境省レッドリスト2020」（令和2年3月27日、環境省報道発表資料）掲載種
EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧
- VI. 「レッドリストあいち2020」（令和2年3月、愛知県）掲載種
EN：絶滅危惧 IB 類
- VII. 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物（動物編）改訂版-岐阜県レッドデータブック（動物編）改訂版-」（平成22年、岐阜県）
CR+EN：絶滅危惧 I 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧

⑤ 魚類

調査区域において確認記録のある 8 目 15 科 46 種の魚類について、重要な動物種の選定基準によって重要な種を選定しました。

重要な種は、アブラボテ、ドンコ等の 6 目 9 科 24 種で表 4-1-37 に示すとおりです。

表 4-1-37 重要な魚類

No	目名	科名	種名	選定基準							
				I	II	III	IV	V	VI	VII	
1	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ					EN	EN		
2	コイ	コイ	コイ						DD		
3			ヤリタナゴ					NT	CR	NT	
4			アブラボテ					NT	DD	NT	
5			イチモンジタナゴ					CR	DD		
6			イタセンバラ	天然	国内				CR	CR	CR+EN
7			シロヒレタビラ						EN	DD	CR+EN
8			ヌマムツ								NT
9			カワヒガイ						NT	CR	
10			ゼゼラ						VU	NT	
11			ツチフキ						EN		DD
12			イトモロコ							NT	NT
13			デメモロコ						VU	CR	CR+EN
14			スコモロコ						VU		
15			トシヨウ	トシヨウ	トシヨウ					NT	VU
16	ニシシマトシヨウ								VU		
17	フクトシヨウ	ホトケトシヨウ						EN	EN	NT	
18	サケ	サケ	サツキマス(アマコ)					NT	DD	NT	
19	タツ	メダカ	ミナミメダカ					VU	NT		
20	カサゴ	カシカ	カマギリ					VU	EN	VU	
21	スズキ	ドンコ	ドンコ						EN	NT	
22			ハゼ	マハゼ							NT
23		チチブ								NT	
24		トウカイヨシノホリ							NT	CR	NT
合計	6 目	9 科	24 種	1 種	1 種	0 種	0 種	17 種	19 種	15 種	

注1) 分類、配列などは基本的に「令和元年度版 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和元年、国土交通省)に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- I. 「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号)等に基づく天然記念物
天然：国指定天然記念物
- II. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号)に基づく国際・国内希少野生動植物
国内：国内希少野生動植物
- III. 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」(平成22年、愛知県)に基づく指定希少野生動植物種
- IV. 「岐阜県希少野生生物保護条例に基づく指定希少野生生物」(平成15年、岐阜県)に基づく指定希少野生動植物種
- V. 「環境省レッドリスト2020」(令和2年3月27日、環境省報道発表資料)掲載種
CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧
- VI. 「レッドリストあいち2020」(令和2年3月、愛知県)掲載種
CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、
- VII. 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)改訂版-岐阜県レッドデータブック(動物編)改訂版-」(平成22年、岐阜県)
CR+EN：絶滅危惧 I 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

⑥ 昆虫類

調査区域において確認記録のある 15 目 136 科 579 種の昆虫類について、重要な動物種の選定基準によって重要な種を選定しました。

重要な種は、ベニイトトンボ、グンバイトンボ、ナゴヤサナエ、タガメ、ツマグロキチョウ、クロマダラタマムシ等の 5 目 27 科 40 種で、表 4-1-38(1)～(2)に示すとおりです。

表 4-1-38(1) 重要な昆虫類

No	目名	科名	種名	選定基準							
				I	II	III	IV	V	VI	VII	
1	トンボ	アオイトトンボ	コハネアオイトトンボ					EN	CR	CR+EN	
2		イトトンボ	ベニイトトンボ					NT	VU	VU	
3			ムスジイトトンボ							NT	
4		モノサシトンボ	グンバイトンボ					NT	EN	NT	
5		ヤンマ	ネアカヨシヤンマ					NT	NT	DD	
6			アオヤンマ					NT	EN	VU	
7			マルタンヤンマ							DD	
8		サナエトンボ	キイロサナエ					NT	NT		
9			ホンサナエ							NT	
10			ナゴヤサナエ					VU	NT	NT	
11		エゾトンボ	トラフトンボ						NT	NT	
12		トンボ	ベッコウトンボ		国内				CR	CR	CR+EN
13			キトンボ						EN		
14			ノシメトンボ							NT	
15			マイコアカネ								NT
16	カメムシ	コオイムシ	タガメ					VU	EN	VU	
17		コハナムシ	コハナムシ					EN	CR		
18	チョウ	ホクトウガ	ハイロホクトウ					NT		DD	
19		セセリチョウ	ミヤマチャハネセセリ						EN	NT	
20		シジミチョウ	ウラクロシジミ						VU		
21		アゲハチョウ	キフチョウ					VU	VU	NT	
22		シロチョウ	ツマグロキチョウ					EN	NT	VU	
23		ツトガ	コマフツトガ					NT		DD	
24		シャクガ	クワトケエダシャク					NT		DD	
25		コウチュウ	オサムシ	オオヒョウタンゴムシ					NT	VU	VU
26	ハンミョウ		ホソハンミョウ					VU	EN	VU	
27	ムカシゲンゴロウ		キフムカシゲンゴロウ					EN		CR+EN	
28	クワカタムシ		オオクワカタ					VU	CR	VU	
29	コガネムシ		アカマダラハナムグリ					DD	NT		
30			クロモンマクソコガネ					NT	EN	CR+EN	
31			マルエンマコガネ							EX	CR+EN
32	タマムシ		クロマダラタマムシ						VU		
33	カミキリムシ		ヨツボシカミキリ					EN	EN	DD	

表 4-1-38(2) 重要な昆虫類

No	目名	科名	種名	選定基準						
				I	II	III	IV	V	VI	VII
34	ハチ	セイボウ	オオセイボウ					DD		
35		スズメハチ	ヤマトアシカハチ					DD		
36			モンズズメハチ					DD		
37		アナハチ	キコシジカハチ						NT	
38		ハキリハチ	キヌゲハキリハチ						NT	
39			クスハキリハチ					DD		
40			マイマイツツハナハチ					DD		
合計			5 目	27 科	40 種	0 種	1 種	0 種	0 種	27 種

注1) 分類、配列などは基本的に「令和元年度版 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- I. 「文化財保護法」（昭和25年 法律第214号）等に基づく天然記念物
- II. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年 法律第75号）に基づく国際・国内希少野生動植物
国内：国内希少野生動植物
- III. 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」（平成22年、愛知県）に基づく指定希少野生動植物種
- IV. 「岐阜県希少野生生物保護条例に基づく指定希少野生生物」（平成15年、岐阜県）に基づく指定希少野生動植物種
- V. 「環境省レッドリスト2020」（令和2年3月27日、環境省報道発表資料）掲載種
CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足
- VI. 「レッドリストあいち2020」（令和2年3月、愛知県）掲載種
EX：絶滅、CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧
- VII. 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物（動物編）改訂版-岐阜県レッドデータブック（動物編）改訂版-」（平成22年、岐阜県）
CR+EN：絶滅危惧 I 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

⑦ 底生動物

調査区域において確認記録のある 12 目 26 科 37 種の底生動物について、重要な動物種の選定基準によって重要な種を選定しました。

重要な種は、マルタニシ、シマゲンゴロウ等の 5 目 9 科 16 種で表 4-1-39 に示すとおりです。

表 4-1-39 重要な底生動物

No	目名	科名	種名	選定基準						
				I	II	III	IV	V	VI	VII
1	新生腹足	タニシ	マルタニシ					VU	NT	NT
2		カリナ	クロタカリナ					NT	NT	NT
3	汎有肺	モアラクガイ	モアラクガイ					NT	DD	
4		ヒラマキガイ	カリネシガイ					CR	EX	CR+EN
5			ヒラマキミスマイマイ					DD	NT	
6			ヒメヒラマキミスマイマイ					EN		
7	イシガイ	カリシシユガイ	カリシシユガイ					EN		VU
8		イシガイ	カラスガイ					NT	DD	DD
9			トンカリスサノハガイ					NT	CR	VU
10			タガイ						NT	
11	マルスタレガイ	シジミ	ヤマトシジミ					NT		
12			マシジミ					VU	VU	NT
13	コウチュウ (鞘翅)	ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ					NT	VU	
14			シマゲンゴロウ					NT	NT	
15		ガムシ	コガムシ					DD		
16			ガムシ					NT	VU	
合計	5 目	9 科	16 種	0 種	0 種	0 種	0 種	15 種	12 種	7 種

注1) 分類、配列などは基本的に「令和元年度版 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和元年、国土交通省)に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- I. 「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号)等に基づく天然記念物
- II. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号)に基づく国際・国内希少野生動植物
- III. 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」(平成22年、愛知県)に基づく指定希少野生動植物種
- IV. 「岐阜県希少野生生物保護条例に基づく指定希少野生生物」(平成15年、岐阜県)に基づく指定希少野生動植物種
- V. 「環境省レッドリスト2020」(令和2年3月27日、環境省報道発表資料)掲載種
CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- VI. 「レッドリストあいち2020」(令和2年3月、愛知県)掲載種
EX: 絶滅、CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- VII. 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)改訂版-岐阜県レッドデータブック(動物編)改訂版-」(平成22年、岐阜県)
CR+EN: 絶滅危惧 I 類、VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足

⑧ 陸産貝類

調査区域において確認記録のある 1 目 9 科 28 種の陸産貝類について、重要な動物種の選定基準によって重要な種を選定しました。

重要な種は、ナガオカモノアラガイの 1 目 1 科 1 種で、表 4-1-40 に示すとおりです。

表 4-1-40 重要な陸産貝類

No	目名	科名	種名	選定基準						
				I	II	III	IV	V	VI	VII
1	マイマイ(柄眼)	オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ					NT	NT	
合計	1 目	1 科	1 種	0 種	0 種	0 種	0 種	1 種	1 種	0 種

注1) 分類、配列などは基本的に「日本産野生生物目録（無脊椎動物編Ⅲ）」（平成10年、環境庁）に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- I. 「文化財保護法」（昭和25年 法律第214号）等に基づく天然記念物
- II. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年 法律第75号）に基づく国際・国内希少野生動植物
- III. 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」（平成22年、愛知県）に基づく指定希少野生動植物種
- IV. 「岐阜県希少野生生物保護条例に基づく指定希少野生生物」（平成15年、岐阜県）に基づく指定希少野生動植物種
- V. 「環境省レッドリスト2020」（令和2年3月27日、環境省報道発表資料）掲載種
NT：準絶滅危惧
- VI. 「レッドリストあいち2020」（令和2年3月、愛知県）掲載種
NT：準絶滅危惧
- VII. 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物（動物編）改訂版-岐阜県レッドデータブック（動物編）改訂版-」（平成22年、岐阜県）」

⑨ 注目すべき生息地の状況

文献によると、環境省がラムサール条約登録に向けた礎とすることや生物多様性の観点から重要な湿地を保全することを目的として「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」（重要湿地）を制定しています。

調査区域を含む市町において記録されている重要湿地は、表 4-1-41 及び図 4-1-20 に示すとおりです。

表 4-1-41 重要湿地の分布状況

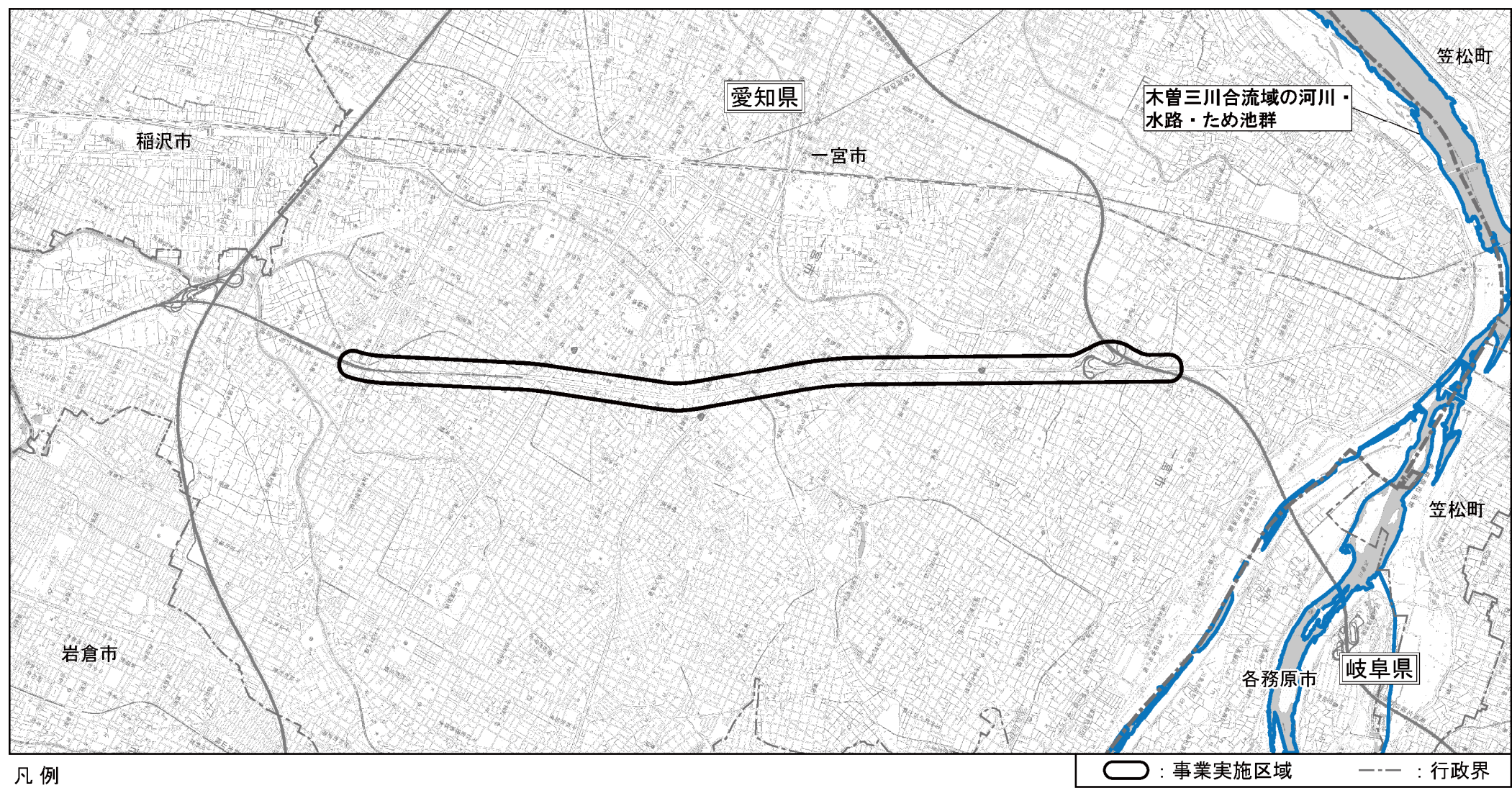
県	市町	湿地名	生物分類群	選定基準
愛知県・岐阜県	愛知県一宮市、岐阜県各務原市など	木曾三川合流域の河川・水路・ため池群	淡水魚類	Ⅱ

注1) 選定基準は以下のとおりである。


- I. 湿原・塩性湿地、河川・湖沼、干潟・砂浜・マングローブ湿地、藻場、さんご礁等の生態系のうち、生物の生育・生息地として典型的又は相当の規模の面積を有している場合
- II. 希少種、固有種等が生育・生息している場合
- III. 多様な生物相を有している場合（ただし、外来種を除く）
- IV. 特定の種の個体群のうち、相当な割合の個体数が生育・生息する場合
- V. 生物の生活史の中で不可欠な地域（採餌場、繁殖場等）である場合

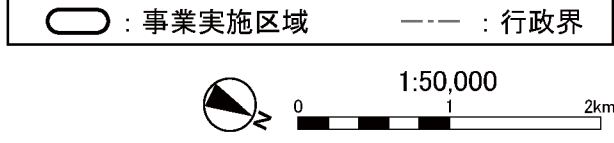
注2) 「市町」の欄には、当該湿地が分布する市町のうち調査区域内の市町（愛知県一宮市・稲沢市・岩倉市、岐阜県各務原市・笠松町）のみ記載している。

出典：生物多様性の観点から重要度の高い湿地〔重要湿地〕（平成28年4月、環境省自然環境局）



凡例

記号	項目
	注目すべき生息地



出典：岐阜県すぐれた自然図（昭和51年、環境庁）
 第2回自然環境保全基礎調査 愛知県動植物分布図（昭和56年、環境庁）
 第2回自然環境保全基礎調査 岐阜県動植物分布図（昭和56年、環境庁）
 生物多様性の観点から重要度の高い湿地（環境省ホームページ）

図 4-1-20 注目すべき生息地位置図

2) 植物の生育及び植生の状況

(1) 植物相の状況

既存資料において、調査区域での確認記録がある植物はカワラサイコ、オオアブノメ、フジバカマ、ミズオオバコ、ミズタカモジ、ナガエミクリ、アイズスゲ等の 129 科 782 種です。

なお、植物の生育状況及び植生の状況の把握に用いた既存文献・資料は、表 4-1-42 に示すとおりです。

表 4-1-42 植物相及び植生の生息状況の把握に用いた文献・資料

No	資料名	発行年 (閲覧年月)	発行元
1	第 2 回自然環境保全基礎調査 動植物分布図	昭和 56 年	環境庁
2	サイエンスミュージアムネット	(令和元年 1 月)	国立科学博物館 HP
3	レッドデータブックあいち 2020-植物編-	令和 2 年 3 月	愛知県環境局
4	愛知県史・別編・自然	平成 22 年 3 月	愛知県
5	稲沢市ー動植物生息調査業務報告書ー (平成 23 年度～平成 27 年度)	(平成 28 年 3 月)	稲沢市 HP
6	岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物(植物編)改訂版-岐阜県レッドデータブック(植物編)改訂版-	(平成 26 年 3 月)	岐阜県 HP
7	植物からの SOSー愛知県の絶滅危惧植物ー	平成 8 年 6 月	愛知県植物誌調査会編集
8	日本のシダ植物図鑑(1～7 巻)	昭和 54 年 ～平成 6 年	財団法人東京大学出版会
9	自然環境保全基礎調査 植生調査	(令和元年 1 月)	環境省自然環境局生物多様性センターHP
10	第 2 回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落の分布	昭和 57 年 2 月	環境庁
11	第 3 回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図	平成元年	環境庁
12	第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書	平成 12 年 3 月	環境庁
13	第 4 回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図	平成 7 年	環境庁
14	第 6 回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書	平成 13 年 3 月	環境省自然環境局生物多様性センター
15	一宮市内の指定文化財等一覧	(令和 4 年 3 月)	一宮市 HP
16	稲沢の文化財	(令和 4 年 3 月)	稲沢市 HP
17	各務原市文化財	令和 3 年 2 月	各務原市 HP

(2) 植物の重要な種

① 植物相

調査区域において確認記録のある 129 科 782 種の植物種について、重要な植物種の選定基準によって重要な種を選定しました。

重要な種はタコノアシ、カワヂシャ等の 76 科 205 種で、表 4-1-43(1)～(5)に示すとおりです。

表 4-1-43(1) 重要な植物

No	科名	種名	選定基準						
			I	II	III	IV	V	VI	VII
1	ミスヅナ	ミスヅナ					NT	NT	CR+EN
2	トクサ	イヌスキナ						VU	CR+EN
3	ハナヤスリ	コハナヤスリ							CR+EN
4	テンジソウ	テンジソウ					VU	CR	CR+EN
5	サンショウモ	サンショウモ					VU	CR	CR+EN
6	ミスワラビ	ハコネシタ							VU
7	シシラン	タキミシタ					EN	EN	CR+EN
8	イノモトソウ	マツサカシタ						EN	CR+EN
9	チャセンシタ	カミカモシタ						EN	NT
10		オクタマシタ					VU	VU	VU
11		イチョウシタ					NT		CR+EN
12	メシタ	ミドリワラビ						CR	
13		ウスハシケシタ					VU	VU	
14	オシタ	オウセヘニシタ						VU	VU
15		ナカハノイタチシタ							VU
16	ウラボシ	アオネカスラ							VU
17	スイレン	オニハス					VU	CR	CR+EN
18		オクテラコウホネ					VU	CR	CR+EN
19		ヒメコウホネ					VU	CR	CR+EN
20		ヒツシクサ							NT
21	ウマノスズクサ	オオハウマノスズクサ						VU	
22	モクレン	シテコフシ					NT	VU	VU
23	サトイモ	キシタマムシクサ						VU	VU
24	オモダカ	アキノシ					NT		
25	トチカガミ	ヤナキスフタ						NT	VU
26		トチカガミ					NT	EN	CR+EN
27		ヒロハトリケモ					VU	VU	CR+EN
28		イトトリケモ					NT	NT	CR+EN
29		イハラモ						CR	CR+EN
30		オオトリケモ						NT	CR+EN
31		ミスオオハコ					VU		CR+EN
32		コウガイモ						VU	VU
33	ヒルムシロ	イトモ					NT	NT	VU
34		ヒルムシロ						NT	CR+EN
35		ササハモ						EN	
36	サクライツウ	サクライツウ				指定	EN	CR	CR+EN

表 4-1-43(2) 重要な植物

No	科名	種名	選定基準						
			I	II	III	IV	V	VI	VII
37	ヒナノシヤクシ ^{ョウ}	ヒナノシヤクシ ^{ョウ}						NT	VU
38		シロシヤクシ ^{ョウ}							CR+EN
39	ホンコ ^{ウソウ}	ホンコ ^{ウソウ}					VU		CR+EN
40	シュロソウ	ミノシライトソウ				指定	EN		CR+EN
41		ミカワハ ^{イケイソウ}					VU	EN	VU
42		ミノコハ ^{イモ}					VU	EN	CR+EN
43	ユリ	コシノコハ ^{イモ}						CR	VU
44		ヤムユリ							CR+EN
45	ラン	ヒナラン					EN	EX	CR+EN
46		イワチト ^リ					EN	EX	CR+EN
47		マメツ ^{タラン}					NT		NT
48		ムキ ^{ラン}					NT		NT
49		エビ ^ネ					NT	NT	VU
50		ナツエビ ^ネ					VU	VU	CR+EN
51		サルメンエビ ^ネ				指定	VU		CR+EN
52		キン ^{ラン}							NT
53		キン ^{ラン}					VU	NT	VU
54		モイワ ^{ラン}					CR		DD
55		マヤ ^{ラン}					VU		CR+EN
56		クマカ ^{イソウ}				指定	VU	VU	CR+EN
57		ツチアケ ^ヒ							NT
58		セッコク				指定		NT	CR+EN
59		カキ ^{ラン}							NT
60		マツ ^{ラン}					VU	EN	VU
61		アキサ ^{キヤツシロラン}						VU	NT
62		シュス ^{ラン}						VU	CR+EN
63		オオミヤマウス ^ラ						EN	
64		ムヨウ ^{ラン}							CR+EN
65		エンシュウムヨウ ^{ラン}							VU
66		キイムヨウ ^{ラン}							CR+EN
67		セイタカス ^{ムシソウ}							CR+EN
68		スス ^{ムシソウ}						CR	CR+EN
69	サキ ^{ソウ}					NT	VU	CR+EN	
70	イイヌマムカ ^コ					EN	EN	CR+EN	
71	ハシナカ ^{ヤマサキソウ}							CR+EN	
72	トキ ^{ソウ}					NT	EN	CR+EN	
73	ヤマトキ ^{ソウ}						VU	CR+EN	
74	ウチョウ ^{ラン}					VU	EN	CR+EN	
75	アヤメ	カキツハ ^タ					NT	VU	VU
76	クサスキ ^{カスラ}	キシ ^{カクシ}						EX	VU
77	カ ^マ	ミクリ					NT	EN	CR+EN
78		ヤマトミクリ					NT	VU	
79		ナカ ^{エミクリ}					NT		
80	ホシクサ	シラタマホシクサ					VU	VU	VU
81		クロホシクサ					VU	EN	VU
82	イク ^サ	ホソイ							NT

表 4-1-43(3) 重要な植物

No	科名	種名	選定基準							
			I	II	III	IV	V	VI	VII	
83	カヤツリクサ	トタスケ					CR	EX		
84		ケタカネソウ							CR+EN	
85		クロヒナスケ							VU	
86		アイスケ						VU		
87		オキナワシユスケ							NT	
88		オオアオスケ							VU	
89		ニシノホンモンシスケ						VU		
90		ヒメアオカヤツリ						CR		
91		オオシロカヤツリ						VU	NT	
92		ヒメカヤツリ						VU		
93		ヒロートテンツキ						VU		
94		トネテンツキ					VU	VU	CR+EN	
95		マツカサススキ							VU	
96		ミカワシンシユカヤ					VU	VU	VU	
97		コシンシユカヤ						VU	NT	
98		イネ	ヒメコヌカクサ					NT		NT
99			ヒナササ					NT	VU	NT
100			ミスアカモシクサ					VU	CR	
101			ヌマカセクサ							VU
102			ココメカセクサ						VU	CR+EN
103	ウンヌケ						VU	NT	CR+EN	
104	ウンヌケモトキ						NT	VU	VU	
105	セイタカヨシ								NT	
106	ウキシハ							NT		
107	シタミコササ						VU			
108	マツモ	マツモ							NT	
109	メギ	ヘビノホラス						NT	VU	
110	キンポウゲ	レンゲショウマ						EN	CR+EN	
111		カサケルマ					NT	EN	VU	
112		サハノオ							CR+EN	
113		スハマソウ							NT	
114		オキナクサ					指定	VU	CR	CR+EN
115	ホタン	ヤマシャクヤク					NT	VU	VU	
116	スグリ	ヤブサンザシ						VU		
117	ヘンケイツウ	ツメレンゲ					NT	NT	NT	
118	タコノアシ	タコノアシ					NT	NT	VU	
119	アリノトウグサ	オクラノフサモ					VU	CR	CR+EN	
120		タチモ						NT	NT	CR+EN
121	マメ	イヌハギ					VU	VU	NT	
122		マキエハギ							NT	
123		ツルフシハカマ							NT	
124	ヒメハギ	カキノハクサ							VU	
125	イラクサ	ミヤコミス						CR	CR+EN	
126	ハラ	カワラサイコ						VU	NT	
127		マメナシ					EN	CR	CR+EN	
128		ミヤマワレモコウ						EN	NT	

表 4-1-43(4) 重要な植物

No	科名	種名	選定基準						
			I	II	III	IV	V	VI	VII
129	ブナ	シリフカガシ						VU	DD
130		クスギ							DD
131		フモトミスナラ							NT
132	カハノキ	サクラハハノキ					NT		NT
133	ウリ	コキツル							NT
134	ヤナギ	キヌヤナギ						NT	
135	ミソハギ	ミススキナ					CR	EX	
136		ミスマツハ					VU		
137		ヒメヒシ					VU	EN	CR+EN
138		コオヒシ							CR+EN
139	アカハナ	ウスゲチョウシタテ					NT		
140		ミスユキノシタ							NT
141	アブラナ	ミスタカラシ						NT	
142		マルハタネツケハナ						VU	
143		コイスガラシ					NT		CR+EN
144	ヤトリギ	マツグミ							NT
145	タテ	ナカハノウナギツカミ					NT	NT	NT
146		サテクサ							NT
147		ホソハノウナギツカミ							NT
148		ウナギツカミ							NT
149		ヌカホタテ					VU	VU	NT
150		ホソハイヌタテ					NT	VU	NT
151		コキシキシ					VU		VU
152		ノタイオウ					VU	CR	CR+EN
153	モウセンゴケ	イシモチソウ					NT	EN	VU
154		トウカイコモウセンゴケ							NT
155	ナデシコ	ヒランシ							CR+EN
156	ヒユ	カワラアカサ						NT	
157	アジサイ	コカクウツギ						EN	
158	サクラソウ	カラタチハナ							NT
159	イワウメ	ナンカイヒメイワカガミ							VU
160	アカネ	シユスネノキ							CR+EN
161		キクムグラ						NT	
162	リントウ	コケリントウ						VU	CR+EN
163		イヌセンブリ					VU	NT	CR+EN
164	マチン	アイナエ							VU
165	キョウチクトウ	スサイコ					NT		NT
166	ヒルガオ	マメタオシ					CR	EX	DD
167	ムラサキ	ホタルカスラ						EN	NT
168	オオハコ	オオアブノメ					VU	VU	VU
169		シツクサ							NT
170		イヌノフグリ					VU		VU
171		カワチシャ					NT		
172	アゼナ	ヒロハスメノトウカラシ						EN	

表 4-1-43(5) 重要な植物

No	科名	種名	選定基準						
			I	II	III	IV	V	VI	VII
173	シソ	ケブカツルカコソウ						EN	
174		シモハシラ							CR+EN
175		シロネ						NT	
176		ミスネノオ					NT	VU	CR+EN
177		ミストラノオ					VU	VU	CR+EN
178		シマシタムラソウ					VU	NT	
179		ミゾコウジユ					NT		
180		ヒメナミキ						NT	NT
181		ホナカヅナミソウ							NT
182		ハエトクソウ	スズメノハコハ					VU	NT
183	タヌキモ	イイタカムシトリスミレ							CR+EN
184		イヌタヌキモ					NT		CR+EN
185		フサタヌキモ					EN	EX	
186		コタヌキモ						EX	
187		ヒメタヌキモ					NT	EN	CR+EN
188		ムラサキミミカキクサ					NT	NT	
189		クマツヅラ	イワタレソウ						NT
190	キキョウ	キキョウ					VU	VU	NT
191	ミツガシラ	ヒメシロアサザ					VU	EN	CR+EN
192		カガフタ					NT	NT	CR+EN
193		アサザ					NT	EN	CR+EN
194	キク	ムラサキトキンソウ						NT	
195		シロハナタカアザミ						EN	
196		フジハカマ					NT	EN	NT
197		スイラン							NT
198		ミスギク						NT	NT
199		カセンソウ						EN	VU
200		タカサゴソウ					VU		CR+EN
201		カワラニガナ					NT		CR+EN
202		オカオクマルマ							VU
203	セリ	キソカワシシウト						CR	VU
204		エキサイセリ					NT	CR	
205	スイカスラ	オミナエシ							NT
合計	76 科	205 種	0 種	0 種	0 種	6 種	96 種	131 種	163 種

注1) 分類、配列などは基本的に「令和元年度版 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。

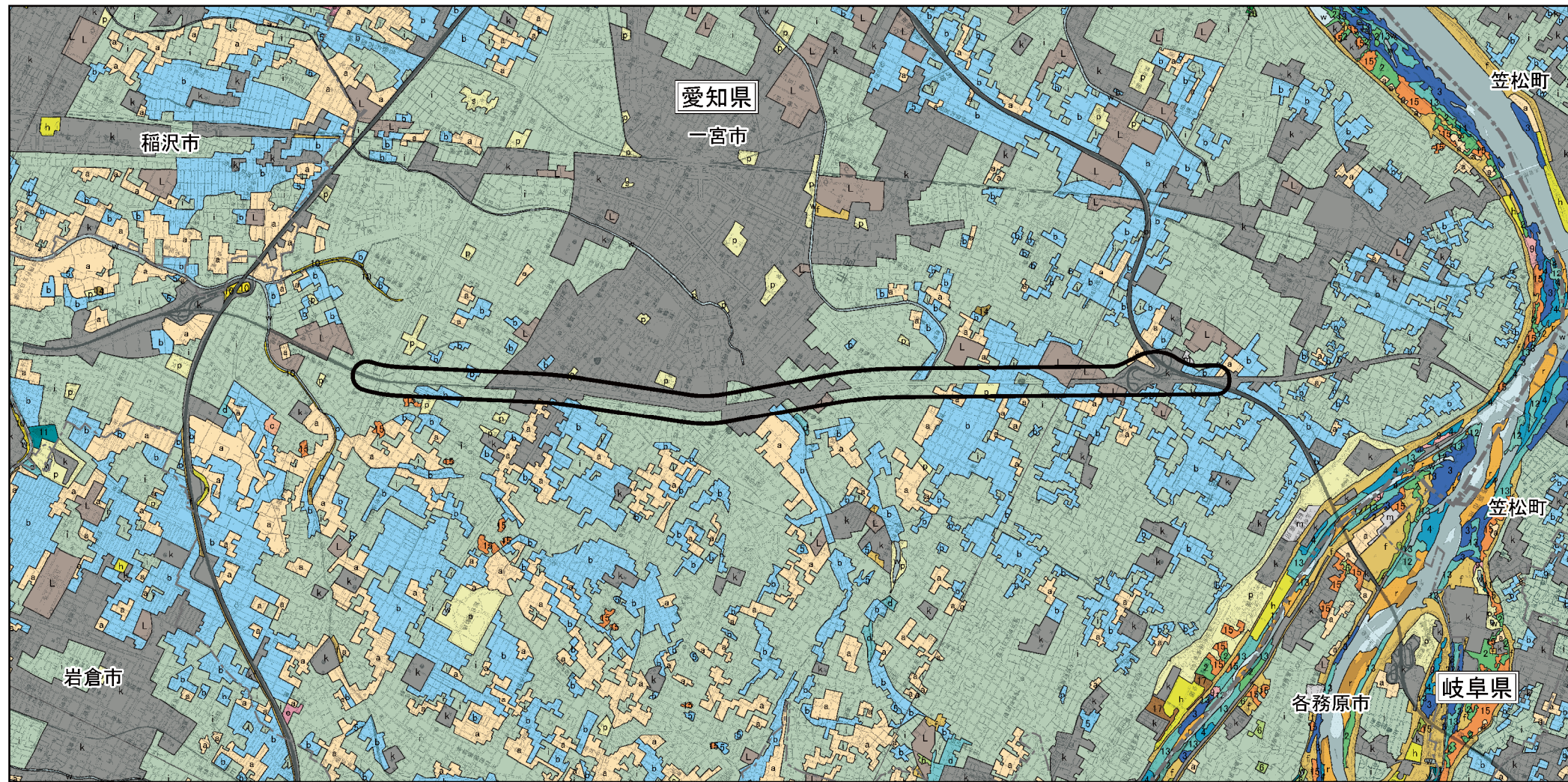
注2) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- I. 「文化財保護法」（昭和25年 法律第214号）等に基づく天然記念物
- II. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年 法律第75号）に基づく国際・国内希少野生動植物
- III. 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」（平成22年、愛知県）に基づく指定希少野生動植物種
- IV. 「岐阜県希少野生生物保護条例に基づく指定希少野生生物」（平成15年、岐阜県）に基づく指定希少野生動植物種
指定：指定希少野生動植物種
- V. 「環境省レッドリスト2020」（令和2年3月27日、環境省報道発表資料）掲載種
CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧
- VI. 「レッドリストあいち2020」（令和2年3月、愛知県）掲載種
EX：絶滅、CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧
- VII. 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物（植物編）改訂版-岐阜県レッドデータブック（植物編）改訂版-」（平成26年3月、岐阜県）
CR+EN：絶滅危惧 I 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

② 植生

環境省が実施した「第6回自然環境保全基礎調査」及び「第7回自然環境保全基礎調査」に基づく植生図は図4-1-21に示すとおりです。

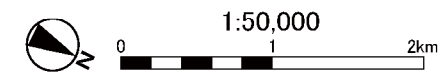
事業実施区域周辺の市街地においては、一宮市街・稲沢市街を中心とする市街地及び全域に広がる緑の多い住宅地、畑雑草群落、水田雑草群落が大半を占めており、樹木の群落を示す植生区分はわずかに点在する程度です。一方、北側を流れる木曾川周辺には竹林、ヤナギ高木群落、ヤナギ低木群落、ムクノキエノキ群集、オギ群集、ツルヨシ群集をはじめとした植生が分布しており、周辺地域に比べて自然度の高い状況となっています。



凡例

○ : 事業実施区域 - - - : 行政界

記号	項目	記号	項目	記号	項目	記号	項目
1	アラカシ群落	10	ネザサ群落	h	ゴルフ場・芝生	k	市街地
2	ヤブコウジ-スダジイ群集	11	クズ群落	f	路傍・空地雑草群落	i	緑の多い住宅地
3	ムクノキ-エノキ群集	12	ススキ群落	c	放棄畑雑草群落	p	残存・植栽樹群をもった公園・墓地等
4	ヤナギ高木群落	13	ヨシクラス	e	果樹園	L	工場地帯
5	ヤナギ低木群落	14	ツルヨシ群落	a	畑雑草群落	m	造成地
6	シイ・カシ二次林	15	オギ群集	b	水田雑草群落	w	開放水域
7	ケネザサ-コナラ群集	17	竹林	d	放棄水田雑草群落	r	自然裸地
9	モチツツジ-アカマツ群集						



出典：第6回・第7回自然環境保全基礎調査 植生調査（環境省生物多様性センター）
 1/25,000植生図「愛知県」「岐阜県」GISデータ（環境省生物多様性センター）を使用し、株式会社長大が作成・加工したものである。

図 4-1-21 植生図

③ 重要な植物群落等

a) 特定植物群落

調査区域においては、特定植物群落として、表 4-1-44 及び図 4-1-22 に示すとおり、「川島付近のネコヤナギ群落」が存在します。

表 4-1-44 特定植物群落

県	市	名称	選定基準	相観区分	面積 (ha)
岐阜県	各務原市	川島付近のネコヤナギ群落	D	暖温帯夏緑広葉低木林	2.00

注) 選定基準は以下のとおりである。

A: 原生林もしくはそれに近い自然林

B: 国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落又は個体群

C: 比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落又は個体群

D: 砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落又は個体群で、その群落の特徴が典型的なもの

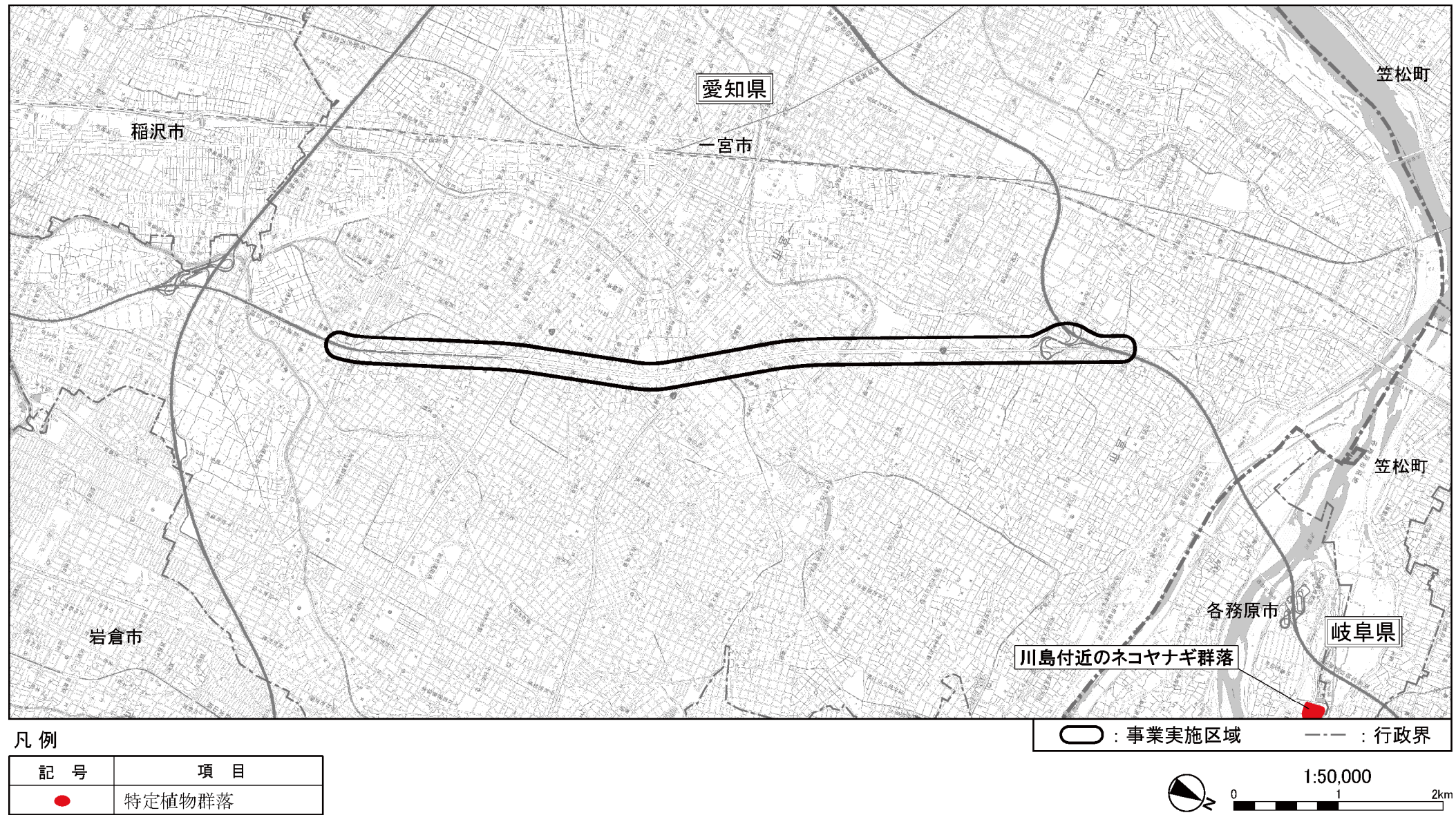
E: 郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの

F: 過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの

G: 乱獲その他の人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落又は個体群

H: その他、学術上重要な植物群落又は個体群

出典: 第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落の分布 (昭和57年、環境庁)



出典：第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落の分布（昭和57年、環境庁）

図 4-1-22 特定植物群落

b) 巨樹・巨木林

調査区域においては、巨樹・巨木林として、表 4-1-45(1)～(2)及び図 4-1-23 に示すとおり、愛知県 43 件、岐阜県 2 件、合計 45 件が存在します。

事業実施区域においては、巨樹・巨木林は存在しません。

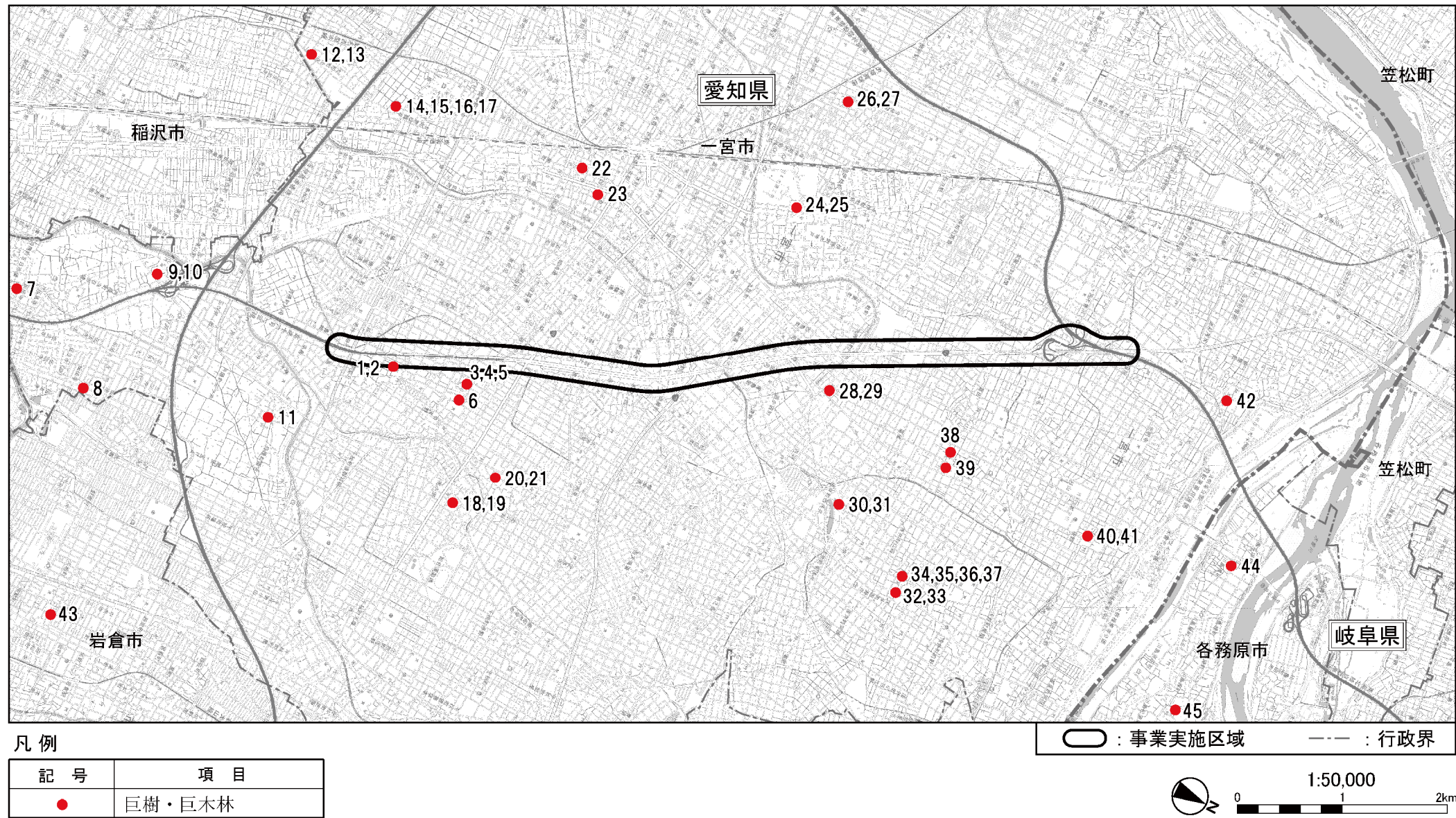
表 4-1-45(1) 巨樹・巨木林

No	県名	名称	樹種	所在地	幹周 (cm)	樹高 (m)
1	愛知県	常保寺	イチョウ	一宮市大字浅野字山王 4	300	20
2			イチョウ		360	20
3		浅野公園	クスノキ	一宮市浅野八剣 67-1	340	15
4			クスノキ		340	15
5			クスノキ		325	15
6		蓮浄寺	クスノキ	一宮市浅野八剣 67	330	15
7		—	—	一宮市丹陽町伝法寺 4737	—	—
8		天満宮	イチョウ	一宮市丹陽町伝法寺下元屋敷	310	20
			ケヤキ		410	20
9		遊園地	エノキ	一宮市丹陽町九日市場宮浦 1350	305	15
10			エノキ		305	15
11		佐野鎮夫氏宅	ケヤキ	一宮市丹陽町重吉南屋敷	340	20
			ケヤキ		410	20
12		無名の神社	クスノキ	一宮市大和町氏永小松山 18	320	22
13			クスノキ		320	22
14		三十八所社	クスノキ	一宮市大和町妙興寺三十八社	335	23
15			クスノキ		320	20
16			クスノキ		380	23
17			クスノキ		370	20
18		八幡神社	クスノキ	一宮市南小渕 2630	380	24
19			イチョウ		320	20
20		浅野公園	クスノキ	一宮市北小渕南切 1355	300	15
21			クスノキ		410	24
22		地藏寺	イチイガシ	一宮市本町通 8 丁目 23	380	20
23			イチイガシ		380	20
24		酒見神社	クスノキ	一宮市今伊勢町本神戸字宮山 1476	340	20
25			クスノキ		340	20
26		野見神社	スダジイ	一宮市今伊勢町宮後稲荷 1929	400	20
27			スダジイ		420	20
28		大津氏宅	イチョウ	一宮市佐千原屋敷 63	420	20
29			クスノキ		430	15
38	兼松成之宅	クロガネモチ	一宮市島村上深田 47	325	18	
39		クロガネモチ		300	18	
30	神明社	クスノキ	一宮市浅井町西浅井神明	450	20	
31		クスノキ		490	20	

表 4-1-45(2) 巨樹・巨木林

No	県名	名称	樹種	所在地	幹周 (cm)	樹高 (m)
32	愛知県	愛宕社	クスノキ	一宮市浅井町西海戸形人	630	20
			クスノキ		285	20
33			クスノキ		285	20
34		神明社	一宮市浅井町江森東之森	クスノキ	310	20
35				クスノキ	310	22
36				クスノキ	350	20
37				クスノキ	350	22
40		妙光寺	一宮市笹野字宮西 1260	スダジイ	320	15
41				スダジイ	400	15
42		—	スギ	—	400	6
43	坂折社	クスノキ	岩倉市	300	10	
44	岐阜県	北山町	クスノキ	各務原市川島北山町	310	23.4
45		松原町	イチヨウ	各務原市川島松原町 229	320	21.6

出典：自然環境調査 Web-GIS 巨樹・巨木林（環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）



出典：第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林（環境省生物多様性センター）
 自然環境調査 Web-GIS 巨樹・巨木林（環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）

図 4-1-23 巨樹巨木林位置図

c) 天然記念物

調査区域においては、天然記念物として、表 4-1-46 及び図 4-1-24 に示すとおり、愛知県 19 件、岐阜県 2 件、合計 21 件が存在します。

事業実施区域においては、天然記念物は存在しません。

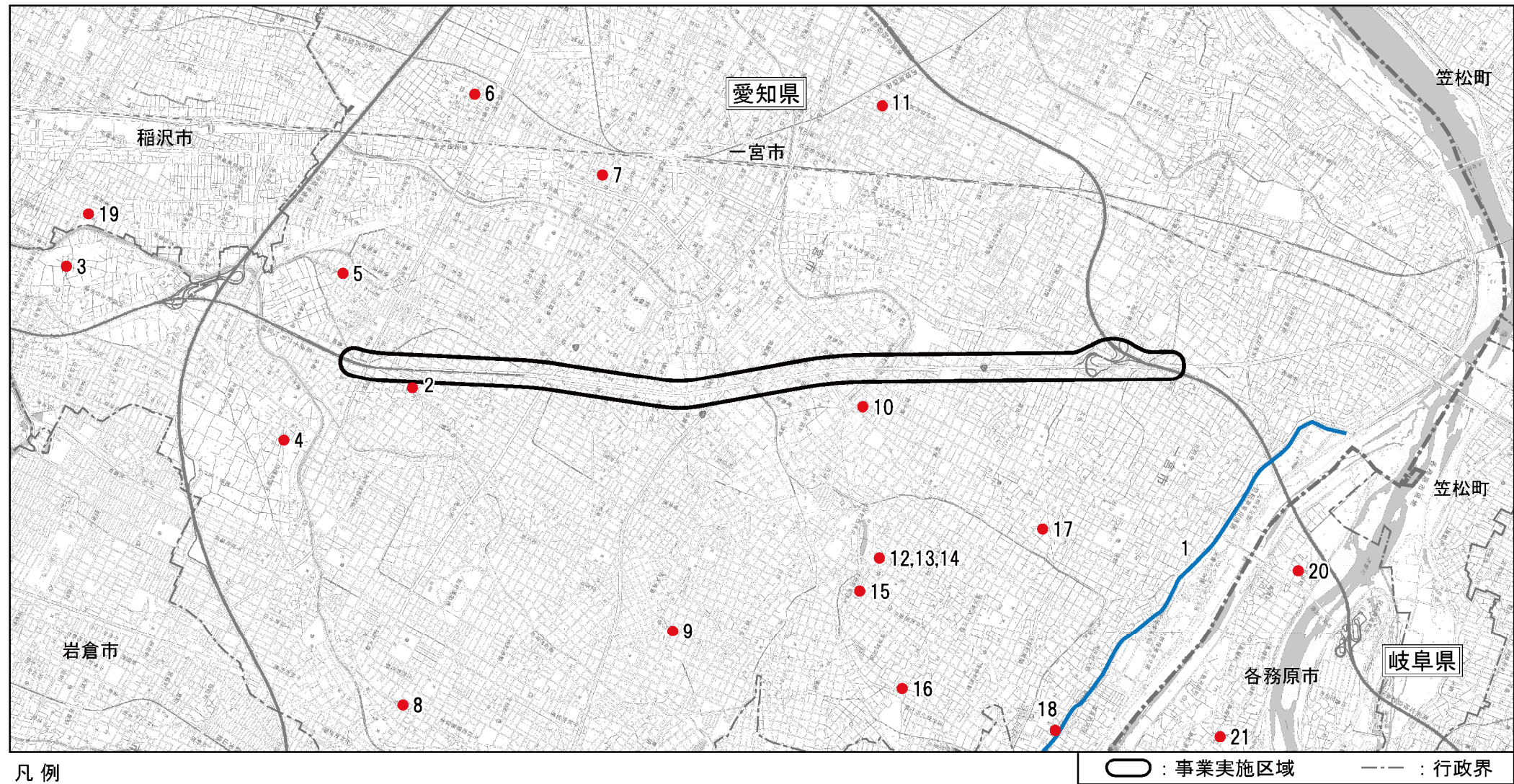
表 4-1-46 植物に係る天然記念物

No	県	市	指定	名称	所在地	指定年月日
1	愛知県	一宮市	国	木曾川堤（サクラ）	一宮市北方町～江南市	S2. 8. 11
2			市	常保寺のイチョウ	浅野字山王 4	S57. 3. 1
3			九日市場のシャシヤンボ	丹陽町九日市場字寺屋敷 3764	S61. 2. 3	
4			重吉のケヤキ	丹陽町重吉	S56. 3. 2	
5			あずらのクスノキ	あずら	H13. 8. 21	
6			妙興寺のスダジイ	大和町妙興寺 2438	H1. 3. 22	
7			地藏寺のイチイガシ	本町通 8-23	S44. 3. 4	
8			慶圓寺のカイツカイブキ	一宮市千秋町佐野字本郷 3130	S56. 3. 2	
9			宅美神社のヒトツバタゴ	西大海道字中山 53	H9. 3. 21	
10			浄蓮寺のクスノキ	佐千原字屋敷 63	H2. 12. 4	
11			野見神社のスダジイ	今伊勢町宮後字稲荷 1929	S52. 8. 6	
12			長誓寺のカイツカイブキ	浅井町東浅井 192	S49. 11. 8	
13			長誓寺のシダレザクラ	浅井町東浅井 192	S49. 11. 8	
14			長誓寺のヤマガキ	浅井町東浅井 192	H18. 1. 25	
15			東浅井のトチノキ	浅井町東浅井	S54. 2. 8	
16			河端のドウダン群	浅井町河端	S36. 7. 12	
17			島村のクロガネモチ	島村	S47. 10. 3	
18			小寶神社社叢	一宮市浅井町尾関字同者 4 ほか	S54. 2. 8	
19		稲沢市	市	ムクノキ	稲沢市下津ふじ塚町	H9. 11. 4
20	岐阜県	各務原市	市	北山神明神社のクスノキ	川島北山町 1021	H18. 3. 15
21			市	松原神明神社のイチョウ	川島松原町 299-4	H18. 3. 15

出典：一宮市内の指定文化財等一覧（一宮市ホームページ）

稲沢の文化財（稲沢市ホームページ）

各務原市文化財（令和3年2月、各務原市ホームページ）



凡例

記号	項目
— (blue line)	国指定天然記念物
● (red dot)	市指定天然記念物

○ : 事業実施区域 - - - : 行政界



出典：一宮市内の指定文化財等一覧（一宮市ホームページ）
 稲沢の文化財（稲沢市ホームページ）
 各務原市文化財（令和3年2月、各務原市ホームページ）

図 4-1-24 天然記念物位置図

3) 生態系の状況

(1) 自然環境の類型化

調査区域は、北側を流れる木曾川や南側を流れる日光川、庄内川等の沖積地となっており、平坦な地形が広がっています。

木曾川周辺に成立する陸水域とそれ以外の陸域に着目し、植生や土地利用の現況を踏まえた自然環境区分を表 4-1-47(1)～(2)のとおり類型化しました。自然環境類型区分図を図 4-1-25 に示します。

陸域は、緑の多い住宅地・公園・墓地等やその他の市街地・工場地帯が広く分布し、水田や、果樹園・畑地も比較的多く分布しています。樹林地や人工林等は極めて少なく、全体的に樹林の乏しい環境です。

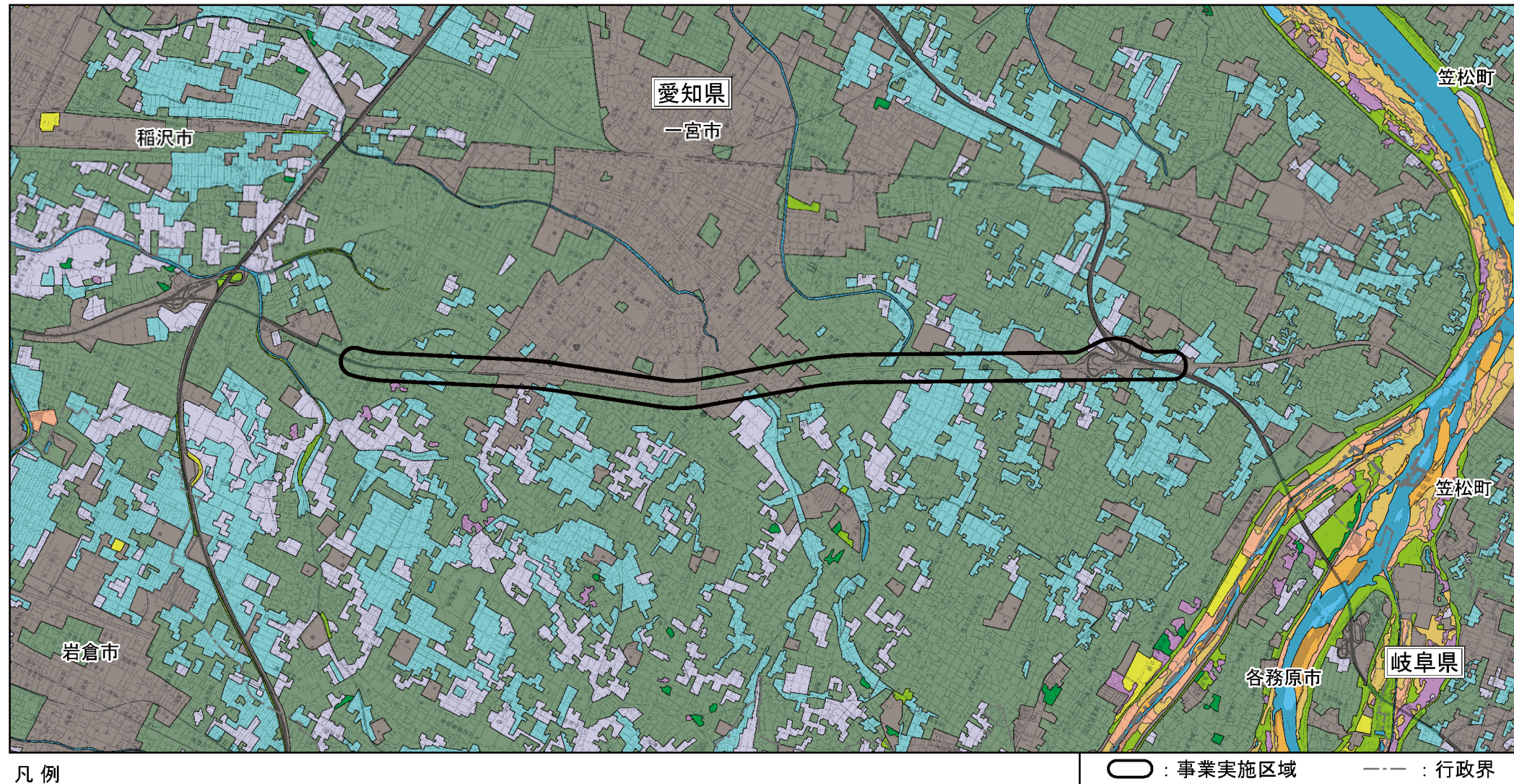
一方、陸水域は、木曾川沿いに河畔林がまとまって成立するため、樹林地・人工林が目立つ傾向にあります。また、開放水域、草地や自然裸地などの環境も陸水域で見られます。

表 4-1-47(1) 自然環境の類型区分の概況

No	類型区分		植生区分
1	陸域	樹林地（人工林以外）	アラカシ群落 ヤブコウジースダジイ群集 ムクノキーエノキ群集 シイ・カシ二次林 ケネザサーコナラ群集 アカメガシワーカラスザンショウ群落 モチツツジ－アカマツ群集 ネザサ群落
2		人工林	スギ・ヒノキ・サワラ植林 その他植林 竹林
3		草地	クズ群落 ススキ群団（Ⅶ） 路傍・空地雑草群落
4		人工草地	ゴルフ場・芝地
5		果樹園・畑地	放棄畑雑草群落 果樹園 畑雑草群落
6		水田	水田雑草群落 放棄水田雑草群落
7		緑の多い住宅地・公園・墓地等	緑の多い住宅地 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等 残存・植栽樹群地
8		その他の市街地・工場地帯	市街地 工場地帯 造成地

表 4-1-47(2) 自然環境の類型区分の概況

No	類型区分		植生区分
9	陸水域 (木曾川周 辺)	樹林地 (人工林以外)	ムクノキーエノキ群集 ヤナギ高木群落 (VI) ヤナギ低木群落 (VI) ケネザサーコナラ群集 アカメガシワーカラスザンショウ群落
10		草地	クズ群落 ヨシクラス ツルヨシ群集 オギ群集 ヒルムシロクラス
11		開放水域	開放水域
12		自然裸地	自然裸地



凡例

陸域

記号	項目	記号	項目	記号	項目
■	樹林地（人工林以外）	■	果樹園・畑地	■	樹林地（人工林以外）
■	人工林	■	水田	■	草地
■	草地	■	緑の多い住宅地・公園・墓地等	■	水域
■	人工草地	■	その他の市街地・工場地帯	■	自然裸地

○ : 事業実施区域 - - - : 行政界



出典：第6回・第7回自然環境保全基礎調査 植生調査（環境省生物多様性センター）
 1/25,000植生図「愛知県」「岐阜県」GISデータ（環境省生物多様性センター）を使用し、株式会社長が作成・加工したものである。

図 4-1-25 自然環境類型区分

(2) 注目種の候補の抽出

自然環境の類型区分に従って選定した注目種の候補は表 4-1-48 に示すとおりです。

上位性の観点からは、「陸域」では、水田やその周辺に生息するシマヘビ、水田を採餌環境とするサギ類を選定しました。

「陸水域」では、樹林地を生息地とするオオタカ等猛禽類、河川で魚類を捕食するカワウを選定しました。

典型性の観点からは、樹林地・人工林、草地・人工草地・果樹園・畑地、水田、住宅地・市街地を利用する典型的な種を考慮し、それぞれ選定しました。加えて、陸水域では、水域内を利用する魚類を考慮して選定しました。

特殊性の観点では、ワンドや高水敷のたまり等止水域を生息環境とするタナゴ類、大河川の下流域を生息環境とするナゴヤサナエ、河川の砂礫地を利用するチドリ類・アジサシ類を選定しました。

表 4-1-48 注目種の候補

類型区分		上位性	典型性	特殊性
陸域	樹林地 (人工林以外)	鳥 類：サギ類 爬虫類：シマヘビ	鳥 類 : コゲラ、メジロ 昆虫類 : アブラゼミ、タマムシ	-
	人工林			
	草地		鳥 類 : ヒバリ、モズ 爬虫類 : ニホンカナヘビ 昆虫類 : マルカメムシ、ウリハムシ	-
	人工草地			
	果樹園・畑地			
	水田		鳥 類 : スズメ、ツバメ 両生類 : ニホンアマガエル、 ヌマガエル 昆虫類 : コバネイナゴ、 ツマグロヨコバイ 底生動物: ヒメタニシ、サカマキガイ	-
	緑の多い 住宅地・ 公園・墓地等		哺乳類 : アブラコウモリ 鳥 類 : ヒヨドリ、ムクドリ、 キジバト 昆虫類 : ヤマトシジミ、クマゼミ	-
その他の 市街地・ 工場地帯				
陸水域	樹林地 (人工林以外)	鳥 類： オオタカ等猛禽 類、カワウ、サギ類 爬虫類： アオダイショウ	鳥 類 : コゲラ、メジロ 昆虫類 : コムラサキ、ヤナギハムシ	-
	草地		鳥 類 : オオヨシキリ、セッカ 哺乳類 : カヤネズミ 昆虫類 : ジュウサンホシテントウ	-
	開放水域		鳥 類 : カモ類、カイツブリ類、 カワセミ 魚 類 : ギンブナ、オイカワ、 カワヨシノボリ 昆虫類 : アメンボ、 ハイイロゲンゴロウ 底生動物: ヒメタニシ、カワニナ	昆虫類: ナゴヤサナエ 魚 類: タナゴ類 (生息する可 能性が高い 場合)
	自然裸地		鳥 類 : シギ・チドリ類、 セキレイ類 昆虫類 : コハンミョウ、 クルマバッタモドキ	鳥 類: チドリ、 アジサシ類 の繁殖地